

私達の地球になにが起こっているのか？

-地球フロンティア研究システム・地球観測フロンティア研究システム合同研究成果発表シンポジウム2002-開催の御案内

平成14年3月6日

宇宙開発事業団

海洋科学技術センター

地球フロンティア研究システム（宇宙開発事業団と海洋科学技術センターの共同プロジェクト）と地球観測フロンティア研究システム（海洋科学技術センターのプロジェクト）は、両システムの研究成果を広く皆様に身近なものとしてとらえていただこうと考え、一般の方を対象とした上記シンポジウムを標記の日程で開催いたします。

（資料1）

環境問題が日々深刻化する今、私たちの次の世代へ美しい地球を残すためにも、地球規模の変動をもたらす自然現象の解明は不可欠です。このような背景下、国家プロジェクトとして発足された地球フロンティア研究システム、地球観測フロンティア研究システムでは、「地球変動予測の実現に向けて」を目標に、自然科学のプロセス研究、観測研究を通して、様々な現象の発見、モデル研究と観測結果の一致など、最先端の技術を駆使し、多様な側面から自然現象の解明につとめて参りました。

今回は、気候変動予測と社会への応用研究で知られるアメリカの研究所、International Research Institute for Climate Predictionの国際関係・開発部門のレントン博士による基調講演、および、両システムが密接な連携を取りながら活動を進めている地球シミュレーター研究開発センターから、運用開始を3月に控えた世界最大のスーパーコンピュータについての特別報告を行います。また、招待講演には、海洋生物学者・コラムニストであり三宅島ネイチャーセンターの顧問として知られているジャックT.モイヤー博士をお招きし、私たちの地球に何が起こっているのか、そして、私たちにできることは何かを海の環境問題と環境教育に焦点をあて、皆様にわかりやすくお話ししていただく予定です。（[資料2](#)）

- 1.開催日：平成14年3月19日（火）・20日（水）
- 2.開催場所：コクヨホール
東京都港区港南1-8-35（JR/京急品川駅港南口徒歩1分）
- 3.同時通訳付き・入場無料
- 4.お申し込み・お問合せ

フロンティア事務局代行（社）資源協会地球科学技術推進機構
<http://www.jamstec.go.jp/frsgc/jp/sympo/2002/seika/>
Tel:045-778-5587 Fax:045-778-2293
E-mail:seika_igcr@jamstec.go.jp

- 5.主催：地球フロンティア研究システム（宇宙開発事業団・海洋科学技術センター）
地球観測フロンティア研究システム（海洋科学技術センター）
- 6.後援：文部科学省

問合せ先

地球フロンティア研究システム 合同推進事務局 担当：秋庭 TEL:045-778-5684
(直通)

<http://www.jamstec.go.jp/frsgc/index.html>

地球観測フロンティア研究システム 事務局 担当：笹岡 Tel:045-778-5741 (直通)

<http://www.jamstec.go.jp/forsgc/index.html>

宇宙開発事業団 広報室 TEL:03-3438-6107~9 <http://www.nasda.go.jp>

海洋科学技術センター 総務部普及・広報課 Tel:0468-67-9066

基調講演者・招待講演者プロフィール

基調講演

ロベルト・レントン(Roberto Lenton)博士

米国IRI(International Research Institute for Climate Prediction)国際関係・開発部門のエグゼクティブ・ディレクター。

気候変動の影響を受けやすい発展途上国において社会への気候科学の応用を推進するべく、各国研究所の国際協力ネットワーク作りに活躍。

水資源管理において国際的な知名度を持つ科学者として、過去に、国連開発計画の持続可能なエネルギーと環境部門のディレクター等を歴任。

1974年、米国マサチューセッツ工科大学から水資源システムにおいて博士号を取得。アルゼンチン出身。

招待講演

ジャック T. モイヤー(Jack T. Moyer)博士

海洋生物学者、コラムニスト

1929年アメリカ合衆国カンザス州生まれ。1952年ニューヨーク・コルゲート大学卒業(生物学・東洋学専攻)、その後、ミシガン大学修士課程修了(魚類学専攻)。

1984年東京大学博士課程修了(サンゴ礁に棲む魚の繁殖生態に関する研究)。三宅島村立の自然教育施設「アカコッコ館」顧問、テレビ番組のアドバイザーとしても活躍。現在、都内の都営アパートにて避難生活をしつつ、三宅島の復興に尽力を尽くしている。

Foundation for Environmental Conservationにより、地球環境保護に貢献する世界の学者・専門家1300人のうちの一人に選ばれ、“World Who is Who and Does What in Environment and Conservation”(1997)、“Who’s who in the World”(1999)にもその名が記載された。

IUCN(国際自然保護連合)・種の保存委員会における生物多様性保全の為の特別委員、フィリピンネグロス島バイス市環境顧問、鳥羽水族館科学顧問、J R 東日本・A Q U Aのエコツアー顧問、アメリカンスクール・イン・ジャパン野外教育顧問、東京都観光事業審議会委員(1998年~2000年)等を歴任。

